

## 論文審査の結果の要旨

論文提出者氏名 金 志 玠 (KIM Jiyeon)

メタステレオタイプとは、外集団の人々が内集団に対してどのようなイメージを持っているかについての認知である。ステレオタイプと偏見に関するほとんどの研究は、人が外集団の人々に関してどう思うか(i.e.アザーステレオタイプ)について、その集団間相互作用に対する影響を検討してきたが、そのような認知だけでなく、自分の集団が外集団の人々にどのように思われているかに関する認知であるメタステレオタイプも集団間関係に影響を与えている。しかし、これまで、メタステレオタイプはどのように形成され、どのような影響を持つかに関しては研究されていない部分が多い。本博士論文は、集団間関係におけるメタステレオタイプの重要性に着目し、集団間不安、及び集団間態度とメタステレオタイプとの関係を、日本人が持つ韓国人に対するメタステレオタイプを中心に調べたものである。

本博士論文の第1章では、メタステレオタイプの概念が説明され、関連した先行研究が紹介された。さらに、関連概念であるスティグマ、及びステレオタイプ脅威とメタステレオタイプ研究との区別に関して説明されている。

第2章ではまず、研究2.1で本論文の対象集団である日本人が韓国人に対して持つメタステレオタイプの内容を調べた。同じ方法で調べた韓国人に対するアザーステレオタイプと比べ、韓国人に対するメタステレオタイプにはネガティブなものが多く含まれ、日本人は、自分達が韓国人に否定的に思われていると認知する傾向があることが確認された。研究2.2では、日本人が持つメタステレオタイプが正確であるかどうかを調べるために、韓国人が実際日本人に対してどのように思っているかとの比較を行った。その結果、日本人は、韓国人が持つ日本人に対するアザーステレオタイプと比べ、より否定的なメタステレオタイプを持っていることが明らかにされた。自分の集団が否定的に思われていると認識すると、集団間の接触に否定的な結果をもたらすため、正確に自分の集団がどのように思われているかを認知することは、集団間関係において大きい意味を持つ。本研究は、ある集団が特定の外集団に対して持つメタステレオタイプの内容が正確であるか歪んでいるかという点について、直接的な比較検討を行ったという点で評価できる。さらに、研究2.2は審査を経て英文誌に掲載済である。

第3章では、メタステレオタイプと集団間不安との関係を検討した。集団間不安は、集団間の相互作用をするときに経験する不安であり、集団間不安を経験することで集団

間関係が悪化することが示されてきた。この集団間不安を引き起こす要因のひとつはメタステレオタイプであると考えられる。本章の研究 3.1 ではまず、日本人が韓国人との接触に対し集団間不安を感じていることを確認し、その程度が韓国人に対するメタステレオタイプが否定的である程度と関係していることを確認した。研究 3.2 では、韓国人に対するメタステレオタイプと集団間不安との関係がもう一度確認され、その関係の程度は韓国人がどのような特性を持っているかに関するアザーステレオタイプの認知と集団間不安との関係より強いことが示された。

第 4 章では、研究 4.1 で、メタステレオタイプが否定的である程度と外集団に対する態度との関係を示すために、潜在的な方法で韓国人に対する好き嫌いの個人差を測定し、これが韓国人に対するメタステレオタイプの評定と関係するかを調べた。これまでの先行研究は、アザーステレオタイプと態度の関連を研究するものであったが、本論文提出者は、新しくメタステレオタイプと態度との関連を問題とし、アザーステレオタイプ以上に、メタステレオタイプが集団に対する態度と関連が強い可能性を示している。研究 4.1 は英文誌に掲載が決定されている。

最後に研究 4.2 では、メタステレオタイプに関連する情報を操作するために、日本人参加者に韓国人が日本人に関して否定的、または肯定的な印象を持っているとの情報を与え、外集団成員に対する印象評価への影響を調べた。その結果、提示された内容に対し、本当に日本人がその特性を持っていると認めた人は、操作された条件にそって韓国人を評価していたことが確認されたが、同様な結果はアザーステレオタイプの操作からは見られなかった。本研究は、限られた場面で外集団の個人に対する評価を測定していたため、メタステレオタイプの影響として一般化するには多様な場面でデータを追加する必要はあるが、肯定的なメタステレオタイプ関連情報を提示することが偏見の低減につながる可能性があることを示唆している点で評価することができる。

本博士論文は、メタステレオタイプに関する研究の蓄積が乏しい中、日本人が韓国人に対して抱くメタステレオタイプを取り上げ、メタステレオタイプと集団間相互作用との関連を調べることで、集団間関係においてのメタステレオタイプの重要性を示している点で意義がある。集団間関係改善への介入という実際場面に直接的な示唆を与えたいという社会的貢献を念頭に置いた基礎研究は、メタステレオタイプ研究を発展させるために非常に重要な視点であると評価できる。したがって、本審査委員会は博士（学術）の学位を授与するにふさわしいものと認定する。